

多摩川緊急治水対策プロジェクト【中間とりまとめ】

～地域が連携し、河川における対策、流域における対策、ソフト対策の組合せにより社会経済被害の最小化を目指す～



令和元年台風第19号において甚大な被害が発生した多摩川流域における今後の治水対策の方向性として、関係機関が連携し「**多摩川緊急治水対策プロジェクト【中間とりまとめ】**」をとりまとめました。引き続き、具体化に向けた検討を行ってまいります。

①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）

<課題>

- ・多摩川では、都市部の人口が密集した中～下流部で氾濫危険水位を大きく超えた
- ・また、世田谷区玉川地先では溢水氾濫が発生

<主な取組メニュー>

■ 洪水の流下能力を向上させる取組

- ・河道の土砂掘削、樹木伐採による**水位低減**
- ・堤防整備（**掘削土を活用**）
- ・流下阻害の横断工作物（堰）の改築
- ・既存施設の治水への有効利用

<今後の方向性>

被害軽減に向けた治水対策の加速化



東京都世田谷区玉川の溢水による浸水被害状況（世田谷区提供）

②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）

<課題>

多摩川本川の水位上昇に伴い、内水氾濫等の被害が発生

<主な取組メニュー>

■ 浸水被害を軽減する取組

- ・流出抑制施設の整備等
- ・既存施設の活用による雨水貯留
- ・下水道樋管等のゲート操作の確実な実施
- ・移動式排水設備の整備
- ・土のう等の備蓄資材の配備等

<今後の方向性>

地域及び関係機関等が連携して浸水被害軽減対策について検討し、取組を推進



川崎市内の内水による浸水被害状況

③減災に向けた更なる取組の推進（ソフト対策）

<課題>

同時多発的な被害発生により、情報が膨大となり、状況把握・情報伝達・避難行動が円滑に進まない

<主な取組メニュー>

■ 防災情報の共有化及び重要度に応じた情報の伝達方法の選択のための取組

- ・自治体との光ケーブル接続
- ・簡易型河川監視カメラの設置

■ 関係機関が連携した水害に対する事前準備のための取組

- ・多機関連携型タイムラインの策定、運用
- ・講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画策定の促進のための講習会実施
- ・自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会の実施

<今後の方向性>

関係機関等が連携し、円滑な水防・避難行動のための体制等の充実化を図る

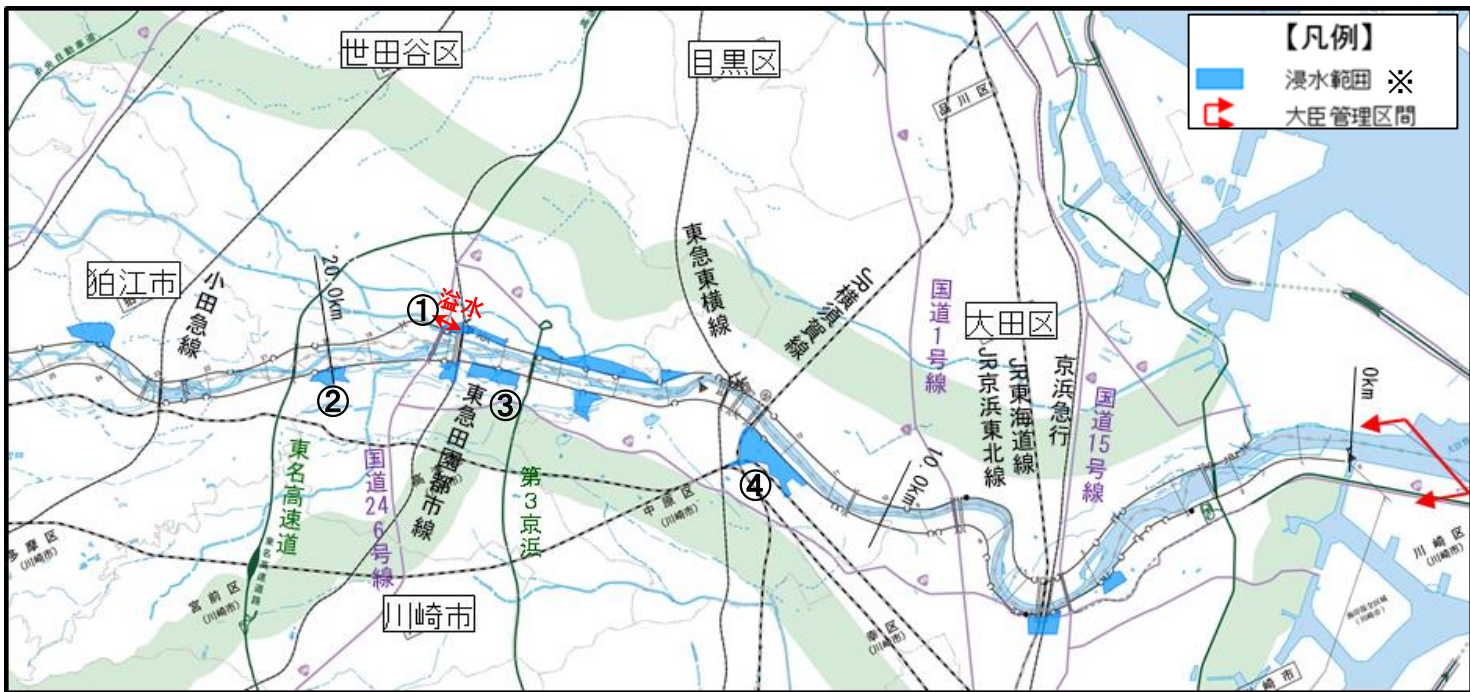


自治体要請による排水ポンプ車の派遣状況

令和元年10月台風第19号の被害状況

○多摩川では、令和元年10月台風第19号により河川水位が上昇し、東京都世田谷区玉川地先で溢水による浸水被害が発生しました。

○溢水により面積約0.7ha、家屋約40戸が浸水となったほか、各地で内水等による浸水被害が発生しました。



※浸水範囲は、関係市区からの情報等に基づき、多摩川に隣接する箇所のみ表示しています。